

(様式2(2))

### サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

愛の家グループホームとうじょう

#### 【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input checked="" type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った <input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した <input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした <input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した <input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した <input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った <input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った <input checked="" type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った <input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった <input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた <input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た <input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った <input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った <input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った <input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った <input type="radio"/> ⑤その他(同職員資料にホームXリポート作成後、上記4項目については、今から実施する)
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した <input checked="" type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) <input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市区町村へ説明、提出した(する) <input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む) <input type="radio"/> ⑤その他( )

## 基本情報

事業所番号	2892500022		
法人名	メディカル・ケア・サービス関西(株)		
事業所名	愛の家グループホームとうじょう		
所在地	加東市南山3丁目23-27	電話	0795-47-6510


【情報提供票より】平成 25年 月 日事業所記入

### (1)組織概要

開設年月日	平成20年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	13人 非常勤0人 常勤換算13人

### (2)建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての1, 2階部分
------	-------------------

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	1,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	150,000円	有りの場合 償却の有無	有(期間:1か月)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
1日 1,000円			

### (4)利用者の概要(8月19日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	75 歳	最高	99 歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	加東市民病院・早川内科・あきら歯科・やすらぎの森診療所
---------	-----------------------------



### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	現在、地域の代表者や、市の職員への参加は少ない。利用者の家族への参加は、あまりない。サービス向上を目指すために、その参加を呼びかけること。(昔は家族参加は多かったが、近頃は参加者が減り、利用者の参加が中心となっている)	家族手帳上、運営推進会議に参加してもらう。(毎回、一家族) 家族参加の意思を他の参加者に伝える。参加するサービスの利用を促す。	次回、運営推進会議は2月に開催予定である。その月に、次回目的、参加を呼びかける期を設定する。1月中旬に送付する家族参加の手帳の中に記載する。	4ヶ月
2	36	先年の課題もあったが、南山地域自体が災害や地震の際に避難場所が限られている。その対策を早急に実施する必要がある。地域の社会も高齢化が進み、行政の負担も大きい。この地域の御利用も多い。	南山地区に防災対策を作り、災害も発生時に備える体制を、地域ぐるみで作成する。	①運営推進会議で、再度、災害時の体制を地域に作る必要性について話し合う。 ②具体的な話し合い(地域)を実施する。 ③各部署、行政の協力を、南山防災マニュアルを作る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。